

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ（エス）を楽しみ、参加する（エンジョイ&ジョイン）ための情報提供がジョイエスの役割です



デポで購入した「十勝産大豆」を種植えし約1カ月半で大きく成長しました

23区南生活クラブのグリーン・グリーン・チームでは、生活クラブ館（世田谷区）の屋上庭園の管理や月1回イベント開催をしています。4月のイベントでは、消費材の十勝産大豆を種として、ダイズの植え付けなどを行いました（関連記事 P2）

P4-5 特集
NPO 法人アビリティクラブたすけあい
**人とつながり地域を変える！
30年の軌跡とこれから**

- P2 生活クラブの主役は組合員
23区南生活クラブ活動紹介
- P3 漫画するケン
「組合員のつながりでつくる豊かな地域福祉」
- P6 イベント案内（展示会・協同村・生活クラブの学校）
- P7 リレーコラム「災害時の備えに、組合員同士のたすけあい」
リーガルサポート・わたしの声カードなど
- P8 生活クラブで「住」を創る
第16回 思い出をお洒落に残して

組織の概要（2023年5月末現在）

- 組合員数（デポを含む）92,778人 ●5月度加入 848人／脱退 734人
- 5月度利用高 20億5,882万円／世帯当たり 28,357円（デポを除く）



「ジョイエス」モニターを募集します！

本紙ジョイエスの8～11月号をモニターしていただける方を募集します。モニター意見は今後の紙面づくりに反映させていきます。4号分すべて回答いただくと、謝礼として1,000円分の図書カードをプレゼント。

●7月14日（金）締切

（応募多数の場合は抽選。当選者の発表はアンケートの配信をもって代えさせていただきます）

●お申込みは
WEB サイトから



TEL : 03-6697-6135 情報政策室

① 協同村 ひだまりファームに遊びにきたよ!

② 天気がいいから外で子育てしているの

協同村にようこそ~

子育てひろばって何をするの?

子どもたちと何をして遊ぶの?

まち・あきるのながいかなこ永射香多子さん

まんが・おぐらみどり

しるべの 生活クラブ

組合員のつながりでつくる 豊かな地域福祉

③ 子育てひろば 親子で楽しむ! わらべ歌や人形劇

④ ランチは参加者同士の交流も

おかずはメンバーが消費材で作って持ち寄り

ごはんと汁ものは協同村で調理

どちらにも企画の後にみんなでランチを楽しむのも一つの楽しみ

世間で子育て中にできる貴重な場

子育てひろばは未就学児の子どもと親向けの交流の場なの

⑤ ヨガサークル ママのリフレッシュ & 多世代交流

エッコロの託児付き

他にも誰でも参加できるヨガサークルを協同村で開催しているよ

⑥ 生活クラブでは地域に住む人同士のつながりづくりを応援しています

多世代の関わりは子どもにとってもいい経験になりそう

子どもが小さい時に助けられた大切な場所を今度は自分が支えていきたい

地域に知り合いができるのは心強いよね


地縁のないあきる野に越してきて子育てひろばに参加したことで大切な仲間に出会えたの

はくなの解説 組合員を中心とした生活クラブの地域福祉

生活クラブでは「子育てを応援する生協」として、地域の組合員活動による「子育てひろば」の開催を推進しています。地域の未就学児がいる家族にも参加を呼び掛け、2022年度は組合員227組・組合員外46組が生活クラブに出会い、活動に参加する場となっています。

そのほか、エッコロたすけあい制度(エッコロ)を通して、世代や家族構成・障がいの有無に関わらず、地域の組合員がつながり・たすけあえる関係をつくっています。

エッコロたすけあい制度についてはこちら▶



生活クラブの 主役は 組合員

23区南生活クラブ活動紹介

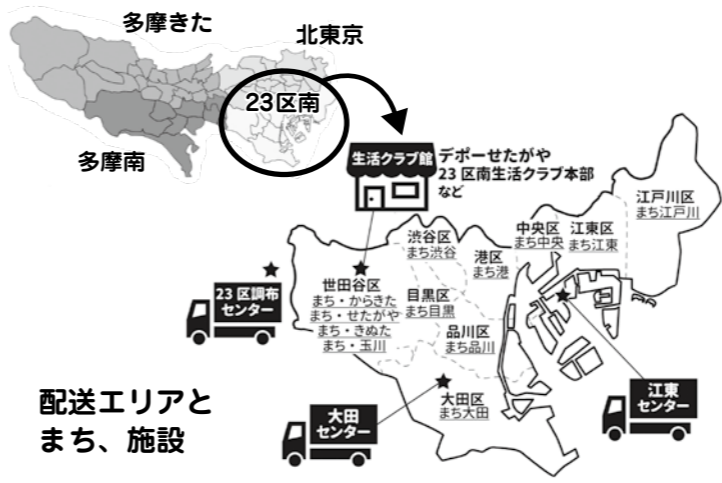
東京都内には、23区南生活クラブ生協、北東京生活クラブ生協、多摩きた生活クラブ生協、多摩南生活クラブ生協という4つの地域ごとの生活クラブ(ブロック単協)と生活クラブ東京の5つの生活クラブがあります。組合員は「ブロック単協」と「生活クラブ東京」に加入しています。

同じ東京都内でも、特徴や課題はブロック単協によってさまざまです。それぞれの地域の特徴を活かし・楽しむ活動や、課題を解決するための取組みを隔月で取り上げます。

今月は東京の南東部にある「23区南生活クラブ(23区南)」の活動をご紹介します。

23区南生活クラブの組織概要

配送エリア	9区(世田谷区・渋谷区・大田区・目黒区・品川区・港区・江東区・江戸川区・中央区) ※大田区・江東区・中央区の一部は配達していません
まち	12まち
組合員数	21,785人(2022年度末)



おいしい!でつながろう~生産者交流会~

組合員が消費材を知る最もよい機会といえば生産者交流会。以前は生産者と直接会って、食べて、仲間と語り合うことが当たり前でしたが、近頃はオンラインでの交流が主流となっています。自宅で生産者の話が聞けるのはありがたいのですが、オンラインから退出したとたん日常に戻ってしまい、少し味気ない気持ちになるのも事実。

ということで、23区南生活クラブでは、オンラインの生産者交流会ではまちで視聴会場を設けることを推奨しています。会場が自宅の近くなれば気軽に出席、近所の組合員との交流もできます。今年度は牛肉、豚肉のオンライン学習会を開催予定で、視聴会場の準備もしています。

どこからでも気軽に学習会に参加できるメリットと、組合員同士の交流ができるメリットを合わせた視聴会場方式を組合員活動に取り入れて、身近な地域での交流も活性化させていきたいと思っています。



23区南生活クラブ 副理事長 滝鼻 容子さん

23区南のまちづくり活動紹介

屋上庭園を癒しの空間に! グリーン・グリーン・チーム

グリーン・グリーン・チーム(GGT)は、生活クラブ館(世田谷区)の屋上庭園の管理や庭園の緑をいかしたイベント開催を行っている団体です。四季を五感で感じられる癒しの空間となるよう、丹精込めて屋上庭園の管理をしています。メンバー4人を中心に、サポーター15人と担当理事で活動を行っています。(2023年4月現在)


メンバーとサポーターは随時募集中! 8月を除く毎月第3土曜日の13時~15時には、屋上オープンデーを開催しています。お子さん連れの参加も大歓迎です。ぜひ気軽にご参加ください。

次回の屋上オープンデー

7/22(土)13時~15時 ※雨天決行(荒天中止)

「ヘチマ・ひまわり・大豆・稲の成長観察」

7/14(金)申込締切 詳細はこちら▶



生物多様性が実感できる活動を楽しんでいます

GGTメンバー浅井さんからのメッセージ

40年くらい前に妻が生活クラブに加入し、消費材を使い続けています。2009年にクラブ館ができてから、1階のデポーセタがやでもたびたび買い物をするようになりました。GGTには、5年ほど前に当時の理事に声を掛けられて、参加をしています。

仕事で動植物に関わっていたこともあり、退職後も自然に親しむことや動植物・環境の保全に関する地域の活動をしています。生活クラブ館の屋上庭園は誰が利用しているのかわかり、清潔なのが魅力です。小さな子どもが裸足で芝生の上を歩き回ったり、摘んだ草を少々口に入れたりしても、安心して見守れます。クラブ館の建設以降も屋上庭園には鳥や風に運ばれてさまざまな植物が根付き、昆虫や鳥が訪れる、身近な自然に触れ合える場となっています。屋上庭園が多くの人の交流や自然に親しむきっかけになればと思います。



まち・セタがや あさいはるお 浅井 晴夫さん



人とつながり地域を変える! 30年の軌跡とこれから

生活クラブの事業や行政ではカバーしきれない分野の課題を、組合員自らの手で取り組んでいるのが、ワーカーズ・コレクティブやNPO団体の市民事業です。生活クラブ運動を広げていく仲間として「生活クラブ運動グループ」と呼んでいます。1992年に設立された特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい(以下ACT)は、生活クラブの共済活動を母体として、地域で生活する人が主体的に参加し協働して地域福祉の問題を解決しようと、「(仮称)たすけあい生協」づくりから始まり、地域の中に“たすけあい”のしくみを生み出し、共生する地域社会づくりを30年にわたって実践しています。その軌跡をたどりながら、ACTの取組みを紹介します。

● ACT誕生の小歴史

1980年代生活クラブでは、21世紀の高齢化社会に向けて、地域に暮らす市民の自治による相互扶助の機能を高めることを課題とし、組合員の日常活動の中でどのようにたすけあいのしくみが具体化できるのか検討を重ねました。そして、1986年に組合員同士の「おたがいさまのたすけあい」を基調とした生活クラブの共済事業(現在のエコロたすけあい制度)がスタートしました。この共済事業の特徴は、なによりもケアサービス重視の「組合員同士のちよっとした、たすけあうしくみ」でした。

1991年に生活クラブ理事会では、「生活クラブがつくる新しい地域福祉」基本計画が検討されました。そして、各支部エリア(現在のまち)で組合員同士の新たな協働のしくみ「(仮称)たすけあい生協」づくりの議論と設立準備が約半年間にわたりすすめられ、市民の自主的な福祉活動として、1992年9月に「アビリティクラブたすけあい(ACT)」が正式に設立されました。組合員を中心に450人が会員としてACTに加入し、同時に5つのたすけあいワーカーズが自立援助サービスを行うために立ち上がり、次々と各自治体につくられて

いきました。

1999年度にACTは任意団体から特定非営利活動法人(NPO)となり、2000年にたすけあいワーカーズが介護保険制度に事業参入しました。



▲(仮称)たすけあい生協準備会設立総会で話をする、ACT初代理事長の石毛鏡子(いしげえいこ)さん(中央)

● ACTのたすけあい事業活動の紹介

☆「Ability(アビリティ)」は、できる力、持てる力を発揮する

☆「Club(クラブ)」は、集う仲間たち

☆「Tasukeai(たすけあい)」は、お互いに手を差し延べ、支えあう

この3つをつなぎあわせるACTは、赤ちゃんから高齢者まで、障がいがあってもなくても誰もが住み慣れたまちで自分らしく暮らせるよう、生活クラブ組合員の枠を超えて、地域の人たちと手を取り合っ、たすけあいのしくみづくりをすすめています。誰もが尊厳と生きがいをもてる社会をともに築き、安心して暮らせるまちづくりをめざしています。

ACTの事業は、ケアという形でその人の暮らしを支えるための「人のたすけあい」としての自立援助サービス事業(家事援助・介護・子育て支援)、もしもの時の「お金のたすけあい」として



▲たすけあいワーカーズでは、産後の子育て援助も行っていきます

額短期保険事業)、「物のたすけあい」としての生活自給品事業、そして人生の最期まで自分らしくいられるための市民後見事業、福祉人材育成のための研修事業、まちづくりの活動への助成などを行っています。

ACTは会員がサービスの受け手になるだけでなく担い手にもなる「おたがいさまのたすけあい」として運営をすすめています。

現在、ACT会員は約5,200人に広がっています。

● ACT運動グループ

ACTの理念にもとづき、48の団体・事業所が地域に根付いた事業と活動を行っています
(団体・事業所数は23年5月末現在)



▲詳細はこちら

▼ACT・たすけあいワーカーズ・コレクティブ連合: 29団体
地域で気軽に助け合えるしくみを支え、介護から子育てまで自分らしく働ける場をつくり、自立援助サービスを行っています。

▼NPO法人ACT・人とまちづくり
居宅介護支援事業所: 6事業所
介護サービスを併設しない独立型の居宅介護支援事業です。介護が必要になった方が自立した個人として尊厳を守り暮らせるよう、利用者や家族が納得できるケアプランを提供しています。

▼ワーカーズ・まちの縁がわ: 13団体
まちの縁がわは、誰もが気軽に立ち寄る居場所「まちのほっとスペース」を運営し、カフェ・ランチ・イベントなどを実施しています。

● 介護保険制度への参入と現在の課題 そしてこれから

政府は2000年4月に介護の社会化をすすめるために介護保険制度を導入し、ACTは同年に事業参入しました。介護保険制度は介護を支える重要な制度ですが、改定の度に利用者の負担増、給付の抑制などがあり、利用者にとって使いにくい制度になっています。ACTでは制度改定の度に問題点を指摘し、より良い制度にするための政策提案を行っています。子育て支援や障がい者支援の体制もまだまだ不十分です。誰もが自分らしく生きられるノーマライゼーション*のまちづくりは、自分たちの生活に必要なしくみを市民が自ら創り出し、行政との良好なパートナーシップを築きながら発展させることによって実現できます。

*ノーマライゼーション: 高齢者や障がい者などの社会的弱者を特別視せず、誰もが同等に生活ができる社会をめざす考え方

ACTが掲げる「住みなれた地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らし続けられるまちづくり」の実現には、一人ひとりの多様な価値観に合わせ柔軟に対応することが大切です。今、格差が拡大する生きづらい社会において、顔の見える関係の中で人と人をつなぎ直すことが求められています。30年間すすめてきた理念を共有し、丁寧に対応しながら一緒に活動をできる人を増やしていくことが大きな課題です。



▲2022年12月の院内集会で厚生労働省担当者に要望書を提出しました

ACT会員になって、一緒に考えて 一步を踏み出してみませんか!



ACT理事長
とよいづみ ゆずこ
豊泉 悠子さん

～ACT理事長 豊泉悠子さんからのメッセージ～

ACTは自立援助サービスを行う「たすけあいワーカーズ」や人が集うサロン、居場所などで地域に人と人の関係をつくりながらすすめてきました。私たちACTの一番の強みは、生活クラブ運動グループの一員として地域のいろいろな組織と連携して縦横につなげることだと思っています。私たちの対象者は市民全員で、国や自治体の縦割りの政策に大きく横串をさして取り組んでいくことが役割と考えています。そのために参加主体者を増やして、生活クラブ組合員の豊かな人材の登場と育成をすすめたいのです。生活クラブから生まれたACTは、地域のニーズを拾い、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けていくために、たすけあいのまち

づくりを行って来ました。人と人の顔の見える関係を大切に、困った時のお手伝いや、人が集える居場所などをつくっています。そこに携わる人を増やし、福祉人材の育成をすることがACTの大きな役割です。

生活クラブ組合員のみなさんにも、自分や近隣に暮らす人の困りごとに関心を持ち、仲間となって、活動や事業に取り組む一步を踏み出してください。

ACTではさまざまな講座や研修を行っていますのでご参加ください。心よりお待ちしております。

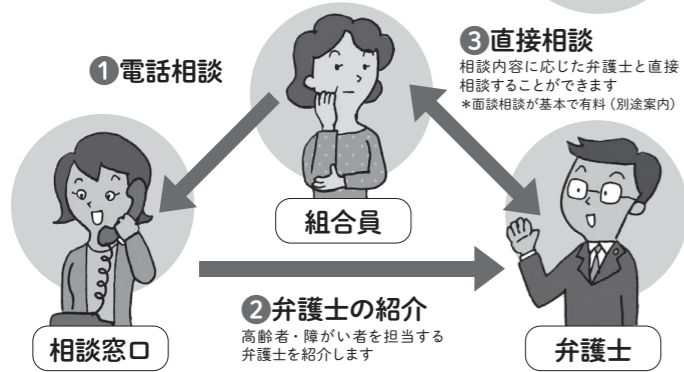


ACTの最新情報はこちら▶



生活クラブ共済連の
高齢者・障がいをもつ方の
ための相談窓口

03-5285-9031
受付：毎週木曜日
10:00～16:00



組合員およびその家族で高齢者・障がい者の方が、成年後見制度、財産管理、介護契約・サービス不服申立、遺言作成等に関する相談ができるように「第二東京弁護士会」と連携して、高齢者・障がい者の方を担当している所属弁護士を紹介できる相談窓口です。

相談窓口：生活クラブ共済事業連生活協同組合連合会
生活クラブ共済連の相談窓口の受付事例として、成年後見と相続に関する相談が多くあります。また、将来の不安に対する準備としての相談などもあります(下の内容を参考にしてください)。

受付事例の紹介

- 父親がなくなり、母親が認知症なので、成年後見と相続に関する相談をしたい。
- 父親が認知症に…。しかし、後見人でないため、定期預金が解約できずに困っている。
- 母の後見人になりたいが、兄弟に反対されている。誰かに相談したいけれど…。

5月 理事会報告 議事抜粋

- 東京都予算提案活動スケジュールについて
- さがみこファーム オフサイト PPA ソーラーシェアリング、実行計画と東京としてのかかりについて
- 【臨時】●2022年度決算、剰余金処分(案)について
- 2023年度予算(案)および設備投資計画(案)について
- 第55回通常総代会関連・議案書(第3号議案 役員退職慰労金の承認について)
- 住宅事業新会社への出資について

東京理事の リレーコラム

「災害時の備えに、組合員同士のたすけあい」



最近、各地で大きな地震や、さまざまな自然災害が多発しています。災害に備え必要なグッズ、水や食料の備蓄をすることや、あらためて地域の人や近くの組合員同士のつながりについて考える機会にもなっていると思います。

生活クラブ東京では2010年からの第5次長期計画の中で、人とのつながりを大切に地域のつながりを再構築していくことを重要項目として、コミュニティづくりをすすめました。2022年度末には501コミュニティとなり、まだ全ての組合員がどこかのコミュニティに属するところまではいっていませんが、毎年少しずつ増やすことができています。

コミュニティの中では、日常的なつながりを作り困ったことをたすけあうしくみ「エコロたすけあい制度」の活用をすすめています。さらにエコロたすけあい制度の範囲を超えた、日常的なたすけあいでは補えない経済的リスクを支えるための共済として「ハグくみ」と「CO・OP共済」があります。

日頃から人と人とのつながりを持ち、いざというときの組合員同士のたすけあいとして「エコロのたすけあい」と「ハグくみ」や「CO・OP共済」があることで、私たちがより安心して暮らしていくことができると考えています。

(生活クラブ東京 副理事長 小寺 浩子)

イベント案内

展示即売会

スーツ・ワイシャツのお仕立て

●生活クラブ赤堤館 常設会場

10:00～16:00
定休日：水・日(祝日の場合は営業)
会場：生活クラブ赤堤館(世田谷区赤堤4-1-6)
※7/18～9/6の定休日は火・水・日
スーツ・ワイシャツ・ブラウスのお仕立ては通年赤堤館で受付いたします。クールビズで役立つパンツのみ、半袖ワイシャツもお仕立ていただけます。約4週間でお届け。

展示会関連問い合わせ先

TEL 03-3324-4502(10:00～16:00)
7/18～9/6までは火・水・日が定休日
(夏季休業：8月13日～20日)

●天地堂 ランドセル

24年モデル発売!ご注文の方にもれなく「木製ネームタグ」と「防水用ランドセルカバー」をプレゼント。ランドセル専門店の天地堂が自信をもっておすすめします。カタログご希望の方は、お電話または右上の二次元コードよりWEB(展示会・内覧会一覧)にてお申し込みください。

東京真珠からのお知らせ

真珠、ダイヤモンドの大卸をしている宝飾品総合卸商社です。組合員に直接提供できるので高品質・低価格でご購入いただけます。
営業時間：11:00～19:00
会場：東京真珠(銀座座)ショールーム(中央区銀座6-16-3)

●ブライダル企画 要予約

落ち着いた雰囲気の中でお二人の大切なジュエリーがお選びいただけます。

●パスポート会員募集

このカードのお申込みで東京真珠銀座店において生活クラブ展示会と同様のサービスが受けられます。
特典内容
①カードのご提示で定価の30%OFF(一部除外品あり)
②ご購入いただいたパールネックレスの糸替え加工代金を永久サービス など

事業企画課

TEL 03-5426-5206

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です。
入材料：510円(4歳～小学生310円)
※繁忙期(7/1～8/31)はプラス200円

駐車料：600円/1日 休村日：火・水
※7/15～8/31は休村日なし

ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画

●石窯ピザ焼き体験

7月9日(日)16日(日)17日(月)23日(日)
8月6日(日)11日(金)12日(土)13日(日)
20日(日)11:00～13:00
参加費：1,600円/1人
ピザ生地を伸ばし、トッピング、石窯に入れて焼きます。

●地元養沢の山羊のチーズを使って石窯ピザ焼き体験

7月15日(土)11:00～13:00
参加費：2,300円/1人
ピザ生地を伸ばして、山羊のチーズとはちみつをトッピング、石窯に入れて焼きます。

●秋川で魚釣り

7月30日(日)10:00～14:30
参加費：2,100円/1人
秋川地域独特の釣り方でハヤ釣り体験。ニジマスの塩焼き付き!
(対象：小学生・保護者同伴)

●石窯で焼くライ麦パンとスモークチーズ

8月5日(土)10:00～15:00
参加費：2,500円/1人
生地ねり、醗酵、成型、窯入れから窯出しまで行います。空いた時間でチーズをスモークします。オプションでお昼にピザもあります。(要予約別料金)

●藍の生葉染

8月6日(日)10:00～12:30
参加費：1,500円/1人
藍の生葉を使って布を染めます。素敵な空色に染まります。(布代別料金)

●多摩産のチーズを使って石窯ピザ焼き体験

8月13日(日)11:00～13:00
参加費：2,300円/1人
ピザ生地を伸ばし、多摩産のチーズとはちみつをトッピング、石窯に入れて焼きます。

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉863
TEL 042-596-0103
休村日：火・水(7/15～8/31は休村日なし)

生活クラブの学校

会場記載がない場合は生活クラブ館開催(世田谷区宮坂3-13-13)

食農共育講座

NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン(CSまちデザイン)との共催企画
受講料は組合員料金を記載しています。

●家庭の食医 季節の養生法

7月13日(木)10:30～12:30
講師：中島玲子さん
(漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中医師、国際中医薬膳管理師)
受講料：2,280円
月1回の講座です。今回のテーマは、「夏の養生」とおすすめの自然療法「豆腐湿布」です。次回は9月14日に実施します。

●親子で食農体験

採りたて夏野菜を食べてみよう!
7月15日(土)10:00～12:00
(小雨決行、天候によっては翌日に延期予定)
講師：白石好孝さん(練馬農家)
会場：練馬区大泉町白石農園
受講料：3,775円(親子2人1組 野菜代金含む)
畑を見て野菜のお話を聞き、実際に夏野菜を収穫します。おいしい食べ方も紹介します。簡単な野菜料理の試食もあります。

NPO法人CSまちデザイン

TEL 03-5426-5212

まちの相談パートナー養成基礎講座

ACT(アクト)との共催企画
オンライン開催
受講料：3,000円/1回
※ACT会員(年会費3,000円)は受講料無料

●支え合う結びあう人たち

7月20日(木)13:30～16:00
講師：内山節さん
(哲学者、NPO法人森づくりフォーラム代表理事)
支えあい結びあう、人の力やコミュニティの大切さについて学びます。

●利用者のニーズを理解する

7月26日(水)10:30～13:00
講師：檜谷照子さん(保健師)
受容と共感の学びを通じて、言葉にされていないニーズをどうくみ取るか学びます。

NPO法人アビリティクラブ
たすけあい(ACT)

TEL 03-5302-0393

でんきの連続講座

環境政策委員会主催企画

●脱原発に向けていま聞こう!

報道で聞けない福島の話

(オンライン併用開催)

7月15日(土)14:00～16:00
講師：おしどりマコ・ケンさん(芸人、記者)
受講料：無料
東京電力福島第一原発事故後、東京電力や地方自治体の会見などさまざまな場所取材し、現地にも頻りに訪れている講師にマスコミでは聞けない福島の現実を聞いて、私たちがなすべきことを考えます。
申込 & 問い合わせ：23区南生活クラブ
TEL：03-3426-9914

切り取って下の部分を提出してください

わたしの声 カード	氏名	電話番号	提出日 /	事務局記入欄
	センター デポー	組合員 コード		センター/デポー

〈お願い〉ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。
①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
●質問には2週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。
※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週までです。
※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフロアワーカーズまでご提出ください。

ご希望のイベント名を
ご記入ください

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。
①ご本人の同意がある時 ②ご本人と特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合。

生活クラブ東京 WEB サイトからも提出できます。みなさんの声をお待ちしています。 生活クラブ東京 わたしの声 検索

生活クラブで「住」を創る

第16回 思い出をお洒落に残して

生活クラブでは、建築士・工務店・専門業者の方々と提携し、住まいにまつわる相談や工事の対応をしています。組合員と生産者が一緒になって「消費材」づくりに取り組んできた考え方をいかして、住まいづくりをサポートします。



外観

生活クラブで住まいづくり ～新築編～

両親から受け継いだ実家の建て替え。環境活動に関わってきたまち石神井の向さんは、家づくりでも環境への配慮にこだわりました。外観や内装は好みのニューイングランド風で、かつ解体した実家の古材をなるべく活かし廃材を出さない家づくりを進めました。新築してから9年経ち、よりお気に入りの空間に育った住まいの様子を紹介します。



◀断熱性能が高いため、夏は涼しく冬は暖かい室内。家中の空気を循環させ、どの部屋も均一な温度に保たれています。実家の梁を活かしながら、新しい家の雰囲気を作り上げています



お気に入りの庭



▲実家の門柱を切断し、ライトとポストを付け、表札にリメイク



◀庭のコンポストで堆肥づくりをしています。雨水タンク、屋根の太陽光発電、太陽熱温水器などを設置し、環境に配慮した家をめざしました



▲実家の思い出のドアノブとスイッチプレート



▲古い建具の扉を玄関収納に活用

向さんには明確なビジョンがあったので、それを形にするお手伝いをしました。建てたばかりより素敵な家に育っていて、うれしく思います。

中央後) 提携建築士 武山肇さん
中央前) 提携建築士 長谷川えいこさん

実家の建具や古材を活かしたいとの要望から解体も丁寧にを行いました。庭木を残したいとの要望から、相続の際の土地の分割から関わりました。

右より) 提携工務店 勝部延義さん
ランドスケープ・デザイナー 横山裕幸さん

私のライフスタイルや好みに合わせて作ったので、どこを見てもお気に入りの満足につながっています。自然素材でできているのでシックハウスの不安もなく、耐震性も高いので安心して暮らすことができます。

左より) まち石神井
向時子さんご夫妻



生活クラブの住宅事業

「住まいづくりの基本姿勢」4つの提案

- 環境** 良質な国産材を活かし、環境を保全
- 健康** 健康に配慮した素材の使用
- 安全** 見えにくい基礎や柱への配慮
- 情報** 工事内容・費用を明確に

住まいづくりからメンテナンス、学習会まで生活クラブがサポートします

TEL : 03-5426-5209 (住宅事業室)

生活クラブ東京 住宅事業

検索

生活クラブ東京の最新情報をWEB・SNSで発信中!

生活クラブ
東京



WEB サイト



Facebook



Instagram